



神奈川県議員

き さ き

木佐木 ただまさ

日本共産党

いのちとくらし

守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会副会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

# 交通安全施設は後回し？

## 決算特別委員会で交通安全施設整備を審査

現在開会中の決算特別委員会では、警察関係予算として交通安全施設整備の予算について取り上げました。2015年度以来、子どもから高齢者まで安心して往来できるように信号機や横断歩道などの表示の適切な更新について求めてきました。

### 2018年度設置予定の信号機は全県でたったの2か所！

皆さんは、神奈川県で1年間に何か所の信号機が設置されているか想像できますか？

2016年度 19か所、2017年度 16か所、2018年度（予定） 17か所と非常に少ない状況にあります。一方、県警に寄せられる要望は15年度 115件、16年度 124件、17年度は 83件と 100件前後の要望が寄せられているにもかかわらず、要望によって設置される信号機の箇所数は年々割合が減少しており、2018年度の予定はわずか2か所の2%となっています。

図1のような経過をたどって要望があげられるため、警察署の中での検討でも

かなり絞って要望があげられていると思います。

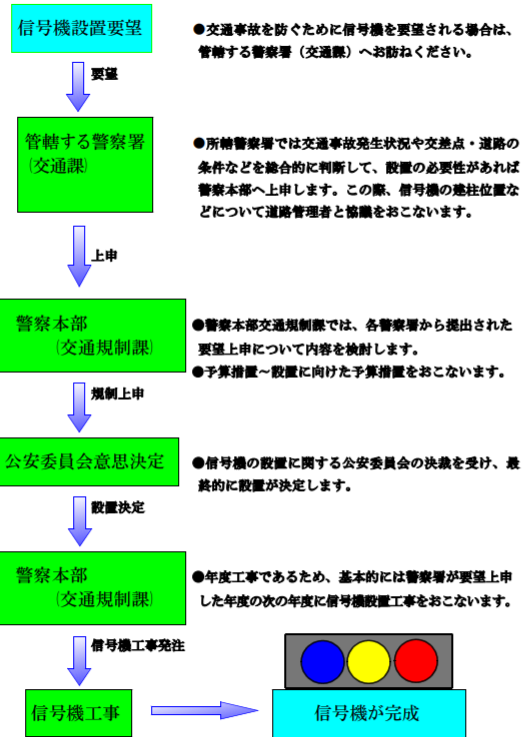
そのため、実際にはこれ以上の要望が各警察署には寄せられているはずで、県民の要望としては強いのではないかと感じています。

### 「なかなか実現してもらえない」憤りの声多数

私も、長年鶴見駅東口から旧東海道につながる交差点に、視覚障害者の方のための音響式信号をつけてもらえないかと要望しているがなかなか実現しないという話を聴き、県警に要望したところ、程なくして設置されていたことがありました。本来であれば、市民からの要望に早急にこたえなければならないのが、県警まで届いてなかったことの表れではないかと感じました。

この他にも、標識や横断歩道の塗り替えなども遅れており、交通安全施設の整備は抜本的に拡充しなければなりません。さいたま市では、古くなった標識の根元が腐り、通行人にあたりケガを負わせる事故なども起きており、安全のため

●●● 信号機はどのようにして設置されるの？ ●●●



信号機は、道路交通における安全と円滑を考慮しつつ、地域の方々と道路管理者の要望・意見を集約して設置しております。

図1 出展：愛媛県警 HP

の設備が、放置されてきたことで危険なものになっています。

### 誰もが安心して渡れる道路を

鶴見区は、狭い道や交通量の多い道路が多く、歩行者も自転車も自動車も安全に通行できるためにもこうした取り組みを一層進めていかなければならないと思います。共生社会の実現に向けても県の予算を増やすことを要望していきたいと思います。

### 初の試み！JCP サポーターまつり

10月28日都立青山公園にて日本共産党（JCP）を応援してくれるサポーターの皆さんによるお祭りが開催されました。5000人もの方が集まり、候補者や議員の特色やこれまでの活動の取り組みを紹介するブースが多く出されました。

日本共産党は今年で創立96年。もっとも歴史のある政党です。そして、唯一「企業・団体献金」と「政党助成金」を受け取らない政党です。戦前の天皇制の時代は、「主権在民」「反戦平和」を訴え、弾圧をされたこともあります。それでも「国民の苦難軽減」という党是を下ろすことなく活動してきました。こうした共産党にとって、市民の方がサポーターとしてこうした催しを企画してくれたことは感激の極みです。



Jcp サポーター祭り=10/28 都立青山公園